

航空法第111条の4に基づく報告一覧(令和3年4月～令和3年9月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA77AN	関西国際空港	那覇空港	進入中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/1	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	新石垣空港	中部国際空港	飛行中、管制通信の内容に行き違いがあり管制指示高度を逸脱した。	
4/1	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA51AN	新千歳空港	大阪国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	シカゴ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/3	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	中部国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	高知空港	神戸空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	東京国際空港	フランクフルト	飛行中、第1エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があつたため目的地を変更した。	イレギュラー運航
4/6	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA825P	那覇空港	中部国際空港	上昇中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
4/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	福岡空港	那覇空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	東京国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	日本航空	E7バス式A350-941型	JA05XJ	東京国際空港	福岡空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
4/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
4/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
4/9	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA23MC	中部国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	大阪国際空港	秋田空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/6	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA04VA	成田国際空港	福岡空港	社内調査の結果、非常用脱出装置が不動作の状態での運航していたことが判明した。	
4/10	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A	シカゴ	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/10	鹿児島国際航空	フィンクニカ式AW109SP型	JA07KG	沖縄県那覇市内場外	与論空港	特別管制区に無許可で侵入した。	
4/12	全日本空輸					運航管理者が使用するアルコール検知器の使用期限が超過していたことが判明した。	
4/12	日本航空	E7バス式A350-941型	JA01XJ	東京国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	バンクーバー	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	大阪国際空港	函館空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	松本空港	岡山空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	神戸空港	新千歳空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA05JC			社内調査の結果、無線電話機の取り出し期限が超過していたことが判明した。	
4/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	シंगाポール	成田国際空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB			運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	シアトル	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA22MC	東京国際空港	北九州空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/16	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC			社内調査の結果、防水携帯灯の点検間隔を超過していたことが判明した。	
4/16	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC			社内調査の結果、防水携帯灯の点検間隔を超過していたことが判明した。	
4/17	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			運航整備中、貨物室の換気弁に不具合が発見された。	
4/17	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	大阪国際空港	高知空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	新千歳空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/19	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA814A	パリ	東京国際空港	飛行中、運航乗務員の1名が一時的に意識不明となったため、目的地を変更した。	重大インシデント イレギュラー運航
4/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	福岡空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
4/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	南紀白浜空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/19	全日本空輸	E7バス式A320-271N型	JA213A	東京国際空港	庄内空港	進入中、擾乱の影響により対地接近警報が作動した。	
4/20	全日本空輸	E7バス式A380-841型	JA382A			定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
4/20	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	屋久島空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/20	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	東京国際空港	八丈島空港	整備委託先において、座席のシートカバーに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	神戸空港	下地島空港	上昇中、貨物室の消火器が作動したことを示す計器表示があった。	
4/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	大阪国際空港	青森空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	仙台空港	新千歳空港	着陸後、機内用照明灯のベースが外れて傾いた。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/23	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA814P	成田国際空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/23	スプリング・ジャパン					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに運航業務を行っていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/23	スプリング・ジャパン					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに運航業務を行っていたことが判明した。	
4/23	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	出雲空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA12VA	関西国際空港	新石垣空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	関西国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新潟空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA12VA	新石垣空港	関西国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/25	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物が機内持込手荷物として輸送された。	
4/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ	中部国際空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	大阪国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA60AN	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	成田国際空港	メキシコ	進入中、擾乱の影響により対地接近警報が作動した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	新石垣空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	仙台空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	成田国際空港	上海(浦東)	飛行中、作動油量が低下したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A			定時整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
4/28	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA201P	福岡空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/28	日本航空	エアバス式A350-941型	JA06XJ	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/29	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/29	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	新石垣空港	与那国空港	確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
4/29	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	与那国空港	新石垣空港	確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
4/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	神戸空港	鹿児島空港	乗客の思い込みにより、誤った座席に着席したことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/30	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA253J	長崎空港	大阪国際空港	上昇中、第2エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
4/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	新千歳空港	成田国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	大阪国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/1	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA221J	奄美空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC			運航整備中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/2	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ	中部国際空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	大阪国際空港	福島空港	被雷による一時的な気流の乱れにより、エンジンが一時的に停止した。	
5/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	大阪国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/2	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	鹿児島空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/3	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	大阪国際空港	屋久島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/3	新中央航空	ル7ク式Dornier228-212型	JA37CA	新島空港	調布飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/3	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	福岡空港	着陸後、操縦系統に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	大阪国際空港	奄美空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
5/6	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	成田国際空港	高松空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	インドネ	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	那覇空港	福岡空港	飛行中、確認不足により管制指示高度を逸脱した。	
5/9	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	長崎空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	福岡空港	中部国際空港	進入復行の際、確認が不足したことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
5/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N			社内調査の結果、貨物室の部品の取付け作業において不備があったことが判明した。	
5/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	福岡空港	大阪国際空港	機内携帯酸素ポットのマスクが接続されていないことを発見した。	
5/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	マニラ	成田国際空港	離陸時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
5/13	朝日航空	MDハリアー式MD900型	JA6909			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
5/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	中部国際空港	大分空港	飛行中、簡易型飛行記録装置が不動作の状態でご出発したことが判明した。	
5/15	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	福岡空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/16	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	福岡空港	屋久島空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
5/16	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	台北(松山)	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	福岡空港	中部国際空港	社内調査の結果、ブレーキの配管の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
5/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	長崎空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	成田国際空港	ダラス	悪天候による目的地変更により、必要な外部点検を行わずに運航した。	
5/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA83AN	中部国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/19	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA339J	中部国際空港	新千歳空港	確認手順に不足があったことから、乗務員基準を超過したことが判明した。	
5/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	成田国際空港	台北(桃園)	飛行中、機内の気圧が通常よりも低下したことを示す計器表示があったため目的地を変更した。	イレギュラー運航
5/24	東邦航空	シコルスキー式S-76C型	JA769B	八丈島空港	八丈島空港	社内調査の結果、テールローター関連部品の取り直し期限を超過していたことが判明した。	
5/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	東京国際空港	ダラス	社内調査の結果、点検作業が不足していたことが判明した。	
5/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	北九州空港	東京国際空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323	ソウル(仁川)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
5/28	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA01JC	福岡空港	屋久島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/28	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA802X			社内調査の結果、タイヤの点検期限が超過していたことが判明した。	
5/28	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	福岡空港	那覇空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	宮古空港	那覇空港	上昇中、前縁フラップに不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	大阪国際空港	秋田空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/31	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/31	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA67AN	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	東京国際空港	ロサンゼルス	運航整備中、エンジンのオイルタンクの蓋を閉め忘れたことから、エンジン始動時にオイルが漏れた。	
6/1	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	長崎空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA52AN			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	アムステルダム	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA07JJ			整備委託先において、作業中、エンジン部品に損傷を与えたものの適切な処置が行われていなかったことが判明した。	
6/4	琉球エアコミューター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	南大東空港	那覇空港	社内調査の結果、非常用照明灯に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/5	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA149A			社内調査の結果、前脚の片方に製造者が認めていないタイヤが取付けられていることが判明した。	
6/5	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA22MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/6	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	降下中、機体姿勢の変化により、中央燃料タンクの燃料使用に関する運用限界を超過した。	
6/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/7	ジェイエア					社内調査の結果、客室乗務員に必要な訓練の実施期限を超過していたことが判明した。	
6/7	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6911			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
6/8	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA132A	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA715A			定時整備中、パイロンの構造部に摩耗が発見された。	
6/10	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	神戸空港	新千歳空港	着陸後、機内の天井や非常灯のカバーが複数外れた。	
6/10	オールニッポンヘリコプター	E7ハス・ヘリコプターズ式AS365N3型	JA66NH			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
6/10	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	福岡空港	那覇空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	新石垣空港	関西国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/11	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示す計器表示があったため引き返した。	レギュラー運航
6/11	オリエンタルエアブリッジ	ヘビリア・エアフライト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	香崎空港	長崎空港	運航整備中、機体外部の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/11	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	パリ	東京国際空港	到着後、前脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
6/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN			定時整備中、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	アンカレッジ	離陸前、離陸の許可を得たと勘違いしたことから、離陸を開始しようとした。	
6/13	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA04GR	広島空港	成田国際空港	搭乗手続きおよび保安検査場通過時に乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、搭載不可の搭載位置に危険物が搭載され運航したことが判明した。	
6/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA63AN	大阪国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	新千歳空港	離陸に向けた地上滑走中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	新千歳空港	東京国際空港	運航乗務員が乗務と乗務の間のアルコール検査を、定められた手順から逸脱して実施していたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	オールニッポンヘリコプター	E7ハス・ヘリコプターズ式AS365N3型	JA65NH			他の同型機で不具合が発見されたため当該部位を点検したところ、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
6/15	朝日航洋	セナ式680型	JA680C	ソウル(仁川)	中部国際空港	飛行中、エンジンデータやエアデータの信号処理装置に、不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	那覇空港	下地島空港	進入中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/16	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/16	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F			定時整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
6/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	サンディエゴ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	四国航空	ユーロコプター式AS350B3型	JA6511	高松空港	可部場外	荷下ろし場を確認中、監視が不足したことからテールローターを樹木に接触させた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/18	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA06GR	成田国際空港	広島空港	飛行中、管制指示後の機体操作が不適切であったこと、ならびに、計器モニターが不足し、管制指示高度を逸脱した。	
6/18	全日本空輸					服用中の医薬品が増量になった報告を失念したことから、必要な確認および経過観察を行わずに乗務したことが判明した。	
6/19	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品を装着していたことが判明した。	
6/21	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A			整備委託先において、国の承認が必要な構造修理の作業手順を、承認を受けずに作業を実施していたことが判明した。	
6/21	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA135A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	那覇空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA803A	那覇空港	大阪国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
6/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA14FJ	新千歳空港	松本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	那覇空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことから脚下げ時の運用限界速度を超過した。	
6/25	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA795A	成田国際空港	シカゴ	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	新千歳空港	神戸空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	東京国際空港	八丈島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/27	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	ロンドン	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新潟空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
6/28	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F			定時整備中、胴体前方の構造部に亀裂が発見された。	
6/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	新千歳空港	中部国際空港	離陸滑走中、左右の速度計に差が生じたことを示す計器表示があった。	
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	花巻空港	乗客からの申告がなかったため、危険物が受託手荷物として輸送された。	
7/1	日本エアコミューター	ATR式72-121A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	東京国際空港	岡山空港	運航整備中、作業漏れがあったため、出発後、駐機場に引き返した。	
7/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/2	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	ロサンゼルス	サザンカリフォル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体前方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA703J	東京国際空港	岡山空港	運航整備中、作業漏れがあったため、出発後、エンジンが始動出来ず駐機場に引き返した。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	シカゴ	アンカレッジ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA829A	東京国際空港	大阪国際空港	飛行中、第2エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があった。	
7/3	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	那覇空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC			定時整備中、油圧系統の遮断弁が作動しないことを発見した。	
7/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA11RK			定時整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	大阪国際空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	上海(浦東)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	松山空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があったため駐機場に引き返した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	宮古空港	那覇空港	運航整備中、非常用照明灯のスイッチの不具合を発見した。	
7/6	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA248J	宮崎空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/6	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	鹿児島空港	鹿児島空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/7	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	中部国際空港	函館空港	降下中、経路上の予想通過高度の確認が不足し、最低経路高度未満に降下した。	
7/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	バンクーバー	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物を機内持込手荷物として輸送された。	
7/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、実施した整備作業と異なる部位を航空日誌に記載していたことが判明した。	
7/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	東京国際空港	北九州空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
7/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、ラダートリムが不動作となった。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA820A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/13	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA211A	東京国際空港	美保飛行場	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/13	全日本空輸	エアバス式A320-214型	JA01VA			特別整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	下地島空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/14	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	山形空港	乗客からの申告がなかったため、危険物が機内持込手荷物として輸送された。	
7/14	日本航空	ボーイング式777-200型	JA702J	東京国際空港	福岡空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	大阪国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	中部国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	全日本空輸	エアバス式A320-214型	JA01VA			特別整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/17	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新千歳空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/19	学校法人ヒラタ学園	セナ式172S型	JA107H	神戸空港	神戸空港	飛行中、発電機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	熊本空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	那覇空港	下地島空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/20	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	宮崎空港	福岡空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	
7/20	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	中部国際空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	大阪国際空港	長崎空港	運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
7/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	新千歳空港	中部国際空港	運航整備中、客室座席のクッションのカバーの一部に製造者が認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/21	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、貨物室の照明の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
7/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	新潟空港	着陸後、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、燃料タンクの表示に不具合が発生した。	
7/23	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/23	日本エアコミューター	ATR式72-121A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/23	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	那覇空港	福岡空港	客室乗務員が便間のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/23	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN			社内調査の結果、客室座席のクッションカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
7/23	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A	広島空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	成田国際空港	アンカレッジ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	東京国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/24	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	パリ	東京国際空港	上昇中、機内で異臭がしたことから引き返し、着陸の際に最大着陸重量を超過した。	レギュラー運航
7/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	シカゴ	アンカレッジ	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/24	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA150A	東京国際空港	熊本空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	松山空港	着陸後、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/25	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA140A	高知空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA246J	大阪国際空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/25	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	青森空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	福江空港	福岡空港	運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食と亀裂が見えられた。	
7/25	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA15JJ	那覇空港	中部国際空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため駐機場に引き返した。	
7/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	シカゴ	アンカレッジ	降下中、通常の脚下げ操作を行ったところ、一時的に脚が展開しなかった。	
7/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J	アンカレッジ	成田国際空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
7/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	那覇空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/26	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA07MC	北九州空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/26	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA15JJ	中部国際空港	那覇空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	仙台空港	松山空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	那覇空港	新石垣空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	シカゴ	アンカレッジ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	大阪国際空港	進入中、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806A	成田国際空港	広島	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	鹿児島空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA825A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	ワシントン	成田国際空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	アンカレッジ	成田国際空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J			荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	仙台空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物を機内持込手荷物として輸送された。	
7/31	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	中部国際空港	那覇空港	社内調査の結果、フラップ機構の部品の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
7/31	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	東京国際空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、油圧系統のフィルターの取付け手順に誤りがあったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、確認が不足したことから、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	東京国際空港	新石垣空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/2	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	ダラス	成田国際空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
8/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA840A	東京国際空港	那覇空港	離陸前の確認が不足していたことから非常脱出扉が不作為の状態で行を開始した。	
8/3	ZIPAIR Tokyo					社内調査の結果、任用要件は充足していたが、総務部による人事発令手続きが漏れたまま教官業務を行っていたことが判明した。	
8/3	ZIPAIR Tokyo					社内調査の結果、任用要件は充足していたが、総務部による人事発令手続きが漏れたまま教官業務を行っていたことが判明した。	
8/3	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA13JJ	成田国際空港	鹿児島空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/4	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	大阪国際空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA20MC	福岡空港	中部国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA882A	マニラ	東京国際空港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
8/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	神戸空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/6	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	成田国際空港	広州	客室乗務員が折り返し便でのアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/7	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	バンコク	社内調査の結果、作業指示と異なる部位の部品を交換していたことが判明した。	
8/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	長崎空港	東京国際空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
8/8	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	広島空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
8/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	仙台空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	ダラス	シカゴ	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	成田国際空港	香港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/9	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、高度計の設定を失念したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	香港	成田国際空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/10	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	宮崎空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/10	セントラルヘリコプターサービス					社内調査の結果、航空身体検査証明の有効期限が失効した状態で運航していたことが判明した。	
8/11	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/11	中日本航空	セナ式560型	JA118N	高松空港	札幌飛行場	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/11	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA813P	福岡空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/11	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	成田国際空港	アンカレッジ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	新千歳空港	東京国際空港	到着後、第1エンジンの逆推力装置に取り付けられた集音用の内張が部分的に剥がれていることが発見された。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA803A	東京国際空港	大阪国際空港	社内調査の結果、実施した作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	福岡空港	仙台空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A			定時整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	宮古空港	東京国際空港	進入中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/14	ジェットスター・ジャパン	E7A5式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	新千歳空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/14	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	種子島空港	鹿児島空港	着陸復行したところ、エンジンのトルク値が運用限界を超過した。	
8/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	高松空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	東京国際空港	女満別空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J	徳島飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	全日本空輸	E7A5式A321-211型	JA113A	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/15	ジェットスター・ジャパン	E7A5式A320-232型	JA07JJ	那覇空港	関西国際空港	離陸に向けた地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/15	ジェットスター・ジャパン	E7A5式A320-232型	JA01JJ	成田国際空港	福岡空港	離陸に向けた地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	シカゴ	ニューヨーク	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/16	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA242J	三沢飛行場	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	神戸空港	百里飛行場	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA652J	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A			定時整備中、右主翼の構造部に亀裂が発見された。	
8/17	エアー・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA894A	シンガポール	成田国際空港	到着後、作業者の無検視で貨物室で発見された。	
8/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/18	ジェットスター・ジャパン	E7A5式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/18	ジェットスター・ジャパン	E7A5式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	香港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/18	全日本空輸	E7A5式A321-272N型	JA142A	関西国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/19	朝日航洋	MDAリコプターズ式MD900型	JA6914			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
8/19	全日本空輸	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A			定時整備中、⇒エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA52AN	岡山空港	東京国際空港	降下中、回復操作を失念したことから、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
8/19	Peach Aviation	E7A5式A320-214型	JA10VA	関西国際空港	那覇空港	飛行中、擾乱により指示高度を逸脱した。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	百里飛行場	神戸空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	神戸空港	下地島空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/20	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA223J	大阪国際空港	松本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	宮崎空港	那覇空港	飛行中、客室内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
8/21	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	ダラス	運航整備中、機内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
8/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	福岡空港	仙台空港	進入中、前縁フラップに不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA933A	ブリュッセル	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
8/23	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	大分空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	Peach Aviation	E7A5式A320-214型	JA04VA	関西国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	全日本空輸	E7A5式A321-272N型	JA149A	東京国際空港	高松空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	Peach Aviation	E7A5式A320-251N型	JA201P	関西国際空港	福岡空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA795A			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	東京国際空港	八丈島空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A			定時整備中、垂直安定板の構造部に亀裂が発見された。	
8/24	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA14FJ	名古屋飛行場	花巻空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA08VA	那覇空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	小松飛行場	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/25	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA216A	東京国際空港	佐賀空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/25	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA16FJ	名古屋飛行場	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物が機内持込手荷物として輸送された。	
8/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	香港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
8/26	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-100STD型	JA02FJ	静岡空港	福岡空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA812A	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/27	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA803B			社内調査の結果、扉の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
8/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA09XJ			整備委託先において、タイヤの構成部品に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
8/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	成田国際空港	関西国際空港	整備委託先において、機内非常用照明灯のコネクターが取り付けられていなかったことが判明した。	
8/28	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	ホーチミン	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、燃料系統の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
8/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK			運航整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	関西国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	関西国際空港	新千歳空港	離陸に向けた地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA873J	ハノイ	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/30	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA213A	東京国際空港	函館空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/31	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	成田国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/2	琉球エア・コミュニティー	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	与那国空港	新石垣空港	離陸に向けた地上走行中、機内通話装置に不具合が発生したため駐機場に引き返した。	
9/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	仙台空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	福岡空港	東京国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
9/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	岡山空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	東京国際空港	那覇空港	飛行中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯したままとなった。	
9/5	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6908	千葉県印西市内	千葉県印西市内	飛行前の確認が不足したことにより、飛行制限区域内へ事前連絡を行わずに飛行した。	
9/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	福岡空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/6	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	シンガポール	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/6	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	福岡空港	成田国際空港	離陸に向けた地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA798A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/7	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA601F	成田国際空港	上海(浦東)	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	神戸空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/9	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	ソウル(仁川)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
9/9	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	ボストン	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	東京国際空港	大阪国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	東京国際空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	成田国際空港	香港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/12	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	成田国際空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	中部国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			社内調査の結果、貨物室内の部品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA824P	仙台空港	関西国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
9/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	成田国際空港	関西国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、抽気系統の漏れの検知検知系統に不具合が発見された。	
9/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	小松飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、スタビライザートリムの作動に不具合が発生した。	
9/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	成田国際空港	サンディエゴ	飛行中、機内通話装置に不具合が発生した。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型		福岡空港	対馬空港	着陸時、ロックを失念したことからギャレーからコンテナが飛び出した。	
9/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	大阪国際空港	高知空港	データ記録装置の不具合に対して、必要な運用許容基準を適用せずに運航した。	
9/17	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	鹿児島空港	上昇中、確認が不足したことから脚下げ時における運用限界速度を超過した。	
9/17	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA217A			特別整備中、化粧室の酸素供給装置の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	名古屋飛行場	青森空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	フジビジネスジェット	セスナ525	JA391C	静岡空港	静岡空港	飛行中、第2エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があった。	
9/19	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ	新千歳空港	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	
9/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J			社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が不適切に行われていたことが判明した。	
9/19	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	ニューヨーク	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
9/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA837A	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/20	アカギヘリコプター		JA6200			木材搬送作業中、山中に墜落した。	航空事故
9/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	山形空港	地上担当者の確認不足により、必要な医薬品が未搭載のまま運航したことが判明した。	
9/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	東京国際空港	福岡空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	大阪国際空港	鹿児島空港	運航整備中、作業漏れがあったため、離陸後、脚が格納出来なかったため引き返した。	イレギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A			社内調査の結果、構造点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			社内調査の結果、構造点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
9/24	日本航空	E7ハス式A350-941型	JA10XJ	福岡空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/25	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	宮崎空港	到着後の点検で、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードの損傷を発見した。	
9/26	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/26	全日本空輸	E7ハス式A321-211型	JA112A			運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	那覇空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	宮古空港	那覇空港	運航整備での非常用システム作動試験時に第3前縁フラップが出てこなかった。	
9/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大阪国際空港	仙台空港	離陸時、第1エンジンの回転数が低下したため、離陸を中止し、駐機場に引き返した。	
9/27	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	朝日航空	ユーロコプター式AS350B3型	JA6502	東京ヘリポート	東京ヘリポート	非常操作訓練においてメインローターの回転数が運用限界を超過した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA932A			社内調査の結果、エアコンの関連部品に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
9/28	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01JC	天草飛行場	熊本空港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
9/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	新千歳空港	女満別空港	到着後、主脚のホイールが一部脱落していることが発見された。	
9/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	新石垣空港	那覇空港	運航整備での非常用システム作動試験時に第3前縁フラップが出てこなかった。	
9/30	オリエンタルエアブリッジ	テネンタム・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	香崎空港	到着後、機体外部の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	パリ	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	